

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	企画部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市営陸上競技場並びに津留運動公園有料公園施設（自由広場・テニスコート）						
	所在地	大分市西浜1番1号						
	設置目的	市民の体育及びレクリエーション等の用に供するため。						
指定管理者	施設の建築年 (又は事業開始年)	大分リバースタジアム共同企業体（㈱グリーンフジタ・大分市陸上競技協会・㈱スポーツジョイ）						
	名称	㈱グリーンフジタ 代表取締役 井尾 敦子						
	代表者名	大分市中島中央2丁目2番25号						
指定管理業務の内容	①施設の使用許可に関する業務 ②施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③施設の維持管理及び修繕に関する業務 ④施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤あらゆる世代の市民の健康づくりの拠点に関する業務 ⑥その他、市長等が必要と認める業務							
料金体系	【トラックフィールド】（個人利用・1名1回）小学生～高校生は60円、大学生・一般は140円 （専用利用・4時間以内）小学生～高校生は6,600円、大学生・一般は8,580円 【トレーニングルーム】中・高校生は60円、大学生・一般は140円 【野球場】1時間310円 【テニスコート】1時間160円 等							
利用料金制	導入済	選定方法				公募		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）			導入年度		平成20年度		
利用者数（単位：人）		R3年度 目標④		245,000		達成率 ①/④ 79%		
19年度② (直営時又は 制度導入1年度)	29年度	30年度	R1年度	R2年度③	R3年度①	〇〇年度比 ①-②	R2年度比 ①-③	
158,713	246,173	249,990	242,684	166,145	194,131	35,418	27,986	
管理運営経費の削減額（直営比較時）（単位：千円）								
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度28年(c)	30年度	R1年度	R2年度	R3年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)-(b)	前指定期間比較 (a)-(c)	
63,170	60,000	59,000	59,546	60,092	60,092	▲3,078	92	
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目	令和3年度	
		54	10			6	11	

2. 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組							
(1) 施設の設置目的の達成							
①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。							
②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。							
③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 令和3年度利用者数：目標 245,000人（平成29年度 248,000人、平成30年度 248,000人、令和元年度 254,000人、令和2年度 251,000人） 令和3年度利用者数：実績 194,131人（平成29年度 246,173人、平成30年度 249,990人、令和元年度 242,684人、令和2年度 166,145人） ○自主事業は利用者ニーズに沿った教室をすることで、利用者数は年々増加傾向となっている。 ○事業計画どおり行われており、ホームページやSNSを利用した広報により、利用者数の増加に寄与している。							
(2) 利用者の満足度							
①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。							
②サービスの質や量は向上しているか。							
③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。							
④利用者への情報提供が十分にされたか。							
【実績】 ○利用者アンケートの利用者満足度の達成度「清掃・安全管理」66.7%（目標値80%以上）「職員の対応」82.4%（目標値90%以上）であり、「清掃・安全管理」は、施設の老朽化による満足度の低下が挙げられる。「職員の対応」については、目標値には到達していないが概ね高い評価を得られている。（実施方法：受付窓口にてアンケート用紙を設置し、来場者へアンケート回答の協力を依頼している。） （清掃・安全管理 平成30年度 73.8%、令和元年度 66.6%、令和2年度 76.8% 職員の対応：平成30年度 83.8%、令和元年度 81.6%、令和2年度 86.9%） ○スポーツ教室（自主事業）満足度アンケートにおいて、満足度54.8%となっているが、無記名者等を除くと満足度78.6%となり利用者のニーズに合わせて、自主事業を実施し高評価となっている。不満の内容も、回数や時間を増やして欲しい等の理由が多い。							
2 効率性の向上等に関する取組							
(1) 経費の低減等							
①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。							
②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。							
③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。							
【実績】 ○制度導入前（H19）と比較すると、3,078千円の管理運営費が削減となっている。 ○電気料金の増加を抑えるため、電力会社と交渉を重ねるなど可能な限り光熱水費の節約に努めた。 ○可能な限り光熱水費等の節約に努め、施設の維持管理において可能な限り職員が行い、経費削減に努めている。							
(2) 収入の増加							
①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。							
【実績】 ○令和3年度の実績は、76,061,603円であった。利用料金収入、事業収入ともに前年度より増加したが、新型コロナウイルスの対策を行うことにより、減少した利用者数に戻りつつある。 ○自主事業において、利用者ニーズに応じた内容の教室を実施している。							

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組	
(1) 施設の管理運営の実施状況	
①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。	
②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。	
③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。	
【実績】 ○多様な勤務ローテーションにより過不足なく効率的に配置されている。 ○人権・同和問題研修や、個人情報保護研修を実施するとともに、消防訓練、AED講習会など、危機管理研修も実施している。 ○従業員の地元雇用や再委託先の地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。	
(2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など	
①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）の遵守等に漏漏はないか。	
②施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	
③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。	
④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。	
⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	
⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。	
【実績】 ○法令に基づき適正に運営されている。 ○条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。 ○従業員による安全指導など、安全管理に対して適切に対応されている。 ○計画よりも多く支出している項目があるが、他の費用の削減に取り組んだことにより、適正な状況である。	

【総合評価】

【所見】

これまでの指定管理の実績を生かして、教室の開催時間や内容を利用者ニーズに沿った内容に変更するなどの取り組みを行い、利用者数確保に向けた取り組みを行っている。施設内の清掃や職員の対応にも高い評価を得られており、適正な施設運営がなされていると評価できる。

【今後の対応】

施設管理について、老朽化による修繕や施設の各備品の修理などが多くなっていることから、重大な事故・故障等の発生防止に向け、施設所管課と連絡を取りながら、入念な点検・計画的な管轄に努める必要がある。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①テニスコート等の利用料金が低廉である点について、市民サービスとしては望ましいと考えるが、施設を管理運営していくうえでは、他自治体の状況や現在の管理運営費を加味して再検討が必要と考える。 ②施設の立地や利用形態を鑑みると、広告設置による高い宣伝効果が期待できることが推定される。また、市の自主財源としても期待できることから、広告設置について検討するべきと考える。 ③トレーニング機器保守点検等を業務委託で対応しているが、可能であれば指定管理者で対応する等、予実を精査し、削減可能な支出は整理を行っていく必要がある。 ④施設の利用料金の支払いについて、市民サービス向上の観点からクレジット支払い等のキャッシュレス導入について検討いただきたい。 ⑤人気教室の紹介や、トレーニングルームや写真判定施設、空き教室の紹介など、より効果的なSNSの活用にも努めていただきたい。	①施設の持続可能な運営のため、維持管理費と市民サービスの2つの観点に基づき、利用料金のあり方について今後、調査・研究を行っていく。 ②令和4年度より、ネーミングライツ制度を導入した。 ③施設の管理業務を行っている職員とトレーニング機器保守点検を行うことが出来る職員が異なるが、削減可能な支出は整理を行っていく。 ④予約システムを利用した、口座引落によるキャッシュレス決済を行っている。クレジットカード等のキャッシュレス決済の導入も検討している。 ⑤ツイッターを利用し、スポーツ教室の実施を配信している。今後とも、効果的なSNSの活用にも努めていただきたい。

【R4年度 指定管理者評価部会の意見】

①指定管理者から提出される予算書・決算書のチェックをしっかりと行い、適正に指定管理料が使われているかを評価できるよう、管理・指導していただきたい。また、指定管理者自身にも決算について評価させるべきである。 ②ツイッターのアカウントが指定管理者である大分リバースタジアム共同企業体となっているので、アカウントは企業名より施設名のほうが望ましいと思われる。また、内容は文字よりも写真を多くしたほうがよい。 ③アンケートがどの施設設備に対しての評価なのか分からないため、分かるように改善したほうがよい。 ④市は施設設備ごとの利用実態を把握し、市民ニーズ等に応じて、施設全体を有効活用させるよう努めていただきたい。
--